

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2021年度第6回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2021年9月24日(金) 18：10～19：38
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数6名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

外務省：民間援助連携室 松田俊夫

学識経験者：堀場 明子（石井委員長に委任）

学識経験者：清水 研

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：佐藤 瑞紀

外務省：岡山 慎之介

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第5回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (2) 第二号議案：国内事業審査分科会委員の増員について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (3) 第三号議案：ウガンダ国内コンゴ民主共和国難民緊急対応支援にかかる事業計画書の承認：2事案

<AAR> ウガンダ共和国西部コンゴ民主共和国難民居住地における教育支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コロナ感染症拡大により、学校が開かれない場合の代替の実施方法、内容を個別支援も含めて具体的に記載すること。
2. 緊急対応支援として、映画作成が妥当な方法であるかどうか、何故このタイミングで実施する必要があるのか、コロナ禍との兼ね合いも含めてさらなる説明を記載すること。
3. 本事業の目的が、就学継続支援体制の構築・仕組み作りであることを踏まえ、ログフレームに構築・仕組み作りを測る指標を組み込むこと。

〈SCJ〉ウガンダ南西部におけるコンゴ民主共和国難民及びホスト・コミュニティの子ども・青少年の保護事業

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での再提出理由：

1. 現状分析、過去の事業の流れを踏まえたうえで、本事業の立て付け・情報が足りなかった。
2. 「対象地における紛争分析・配慮」における民族間の緊張について、再度確認・検討してほしい。
3. コンポーネント内の活動が多く、複雑であり、またログフレームのアウトカム、アウトプットの繋がりがわかりにくかった。
4. モニタリング方法について、具体的にどのように実施するのかの説明が不足していた。

(4) 第四号議案：イラクシリア人道危機対応支援にかかる事業計画書の承認：5事案

〈CCP〉レバノンのパレスチナ難民キャンプにおける教育、医療・保健、心理社会的サポートを通じた子どもと家族、コミュニティへの支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 心理社会的サポートについて現状の情報を含めたアップデートをすること。専門的な言葉の使用方法など確認し直し、心理社会的保護の専門家に確認してもらうこと。
2. コロナ対策を今年の状況に合わせてアップデートすること。
3. コミュニティにおけるレジリエンスの強化に関する指標をより具体的な内容にすること。
4. 出口戦略について、申請書27ページの意図を明確に記載しなおすこと。
5. これまで実施してきた事業を通して得た情報や改善点、及び前期事業との違いを申請書に書き加えること。

〈SCJ〉レバノン北部におけるシリア難民と脆弱性の高いホスト・コミュニティの子どものための教育支援事業（第2期）

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 提携団体の選定及び設置理由、提携団体と地域事務所の違いを含めた実施体制の建て付け理由を追記すること。また、団体の能力開発について追記すること。
2. コンポーネント1の中に、感染症対策をより詳細に記載すること。

事業審査分科会でのコメント：

1. 物資調達が出来ない場合やコンポーネント1の活動が対面で実施できなくなった場合など、予期せぬ事態に対する別のプランを検討しているのであれば、申請書に反映すること。

〈JEN〉トルコ キリス県で新型コロナの影響を受けたシリア難民・ホストコミュニティの女性を対

象とした生計支援

結果：再々提出

事業審査分科会での結果：再々提出

事業審査分科会での再々提出理由：

1. 今の生計支援の方法を前提とせず、他団体の生計支援方法等を参考にしながら、裨益者数、費用対効果、波及効果、規模感、現地ニーズ、方法など、事業全体を根本的に見直すこと。

<REALs>シリア国内

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1について、裨益者650世帯の選定方法、および配布方法を含むクラスターとの調整について詳細を詰め、事業計画書に追記すること。
2. 事業対象地のDisaster Management Planを確認し、添付資料に含めること。

<AAR>シリア国内

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での再提出理由：

1. シリア国内の業者の選定、現地治安状況の観点も含めた事業対象地の選定、裨益者の選定方法について、より詳細な説明を事業計画書に追記すること。また、コンポーネント1について、軋轢等を避けるため、複数の業者と契約することも検討すること
2. コンポーネント2について、IDPを対象に含めた理由を含むクライテリアを設定した背景を事業計画書に追記すること。また、IDPの裨益者が移動した場合の対応策について検討し、追記すること。
3. 業務委託費に計上されている人件費とAARのスタッフとして計上されている人件費の重複や各スタッフの人役等、人件費について精査すること。
4. 現地の最新情報に基づいたCOVID-19対策について、事業計画書に追記すること。

(5) 第五号議案：南スーダン難民緊急支援にかかる事業計画書の承認：2事案

<PWJ>中央エクアトリア州における国内避難民への給水衛生支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 給水所修理、仮設水浴び場修理など、何処で、何か所、修理を実施するのか申請書内で整合性を持たせること。
2. 給水所修理、仮設水浴び場修理について、何が壊れて、どのように修理するのかなどが分かりにくいいため、修理内容、その対応、今後の修理見込みも含め、より具体的に記載すること。
3. コロナに関する情報が最新のものであるかどうか、また、最新のコロナ情報に対応したコロナ対策であるかどうかを再確認し、申請書に記載すること。

〈REALs〉中央エクアトリア州ジュバ市国内避難民キャンプとホストコミュニティにおける共同作業を通じた平和的共存の促進と保護事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 緊急支援としてのニーズに対応する事業であることをより明確に申請書に記載すること。
2. REALs が、長年南スーダン国内で事業を実施してきたことを踏まえて、今までの成果を申請書に落とし込むこと。
3. 事業内容が、他ではあまり見られない紛争解決・平和的共存を目的としているため、事業の成果など、現場で他ステークホルダーに共有・報告する旨を申請書に加筆すること。

(6) 第六号議案：ミャンマー避難民人道支援にかかる事業計画書の承認：2事案

〈IVY〉農業技術指導を通じたミャンマー避難民の能力強化とホストコミュニティにおける水アクセス改善事業

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

事業審査分科会でのコメント：

1. コンポーネント1、1-3 アセスメントにおける質問項目において、最終学歴について削除または任意回答で、検討していただきたい
2. 分科会委員より指摘・コメントがあった点について、申請書に反映していただきたい

〈AAR〉ミャンマー避難民キャンプとホストコミュニティにおける女性の保護環境改善事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネントおよびサブ・コンポーネント（活動）ごとの相互連携が明確になるよう、およびそれぞれの活動が個別に必要な理由が明確になるよう、事業計画書に必要な説明を追記すること。
2. 啓発講座対象者の男女比について、可能であれば男性の比率が増えるようを再検討すること。
3. 現地の最新の情報に基づいた、COVID-19 対策を事業計画書に追記すること。
4. 計上される人件費の妥当性について、外務省の承認を得ること。

(7) 第七号議案：ベネズエラ避難民支援にかかる事業計画書の承認：1事案

〈JADE〉ペルーに避難した脆弱度の高いベネズエラ避難民とホストコミュニティに対する相談事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 分科会における質疑応答の内容について、特にログフレーム、ニーズを示す客観的データ、コミュニケーションの取り方、オリエンテーションの詳細内容、弱者の定義およびその対応等を、必要であれば再度検討し、申請書内に記載すること

(8) 第八号議案：令和元年台風被災者支援（台風15号、台風19号）プログラム（緊急対応期）にかかる事業計画書の承認：2事案

〈JPF〉令和元年台風被災者支援資金助成及び伴走・モニタリング事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 目的に掲げられている「実施団体の事務負担を軽減」に関するより適切な成果指標
2. 本事業の成果に関する報告方法

事業審査分科会でのコメント：

1. 事務局資料審査に関して別紙「事業審査分科会委員からのコメント」の通り

〈PBV〉千葉県域での行政、社協、NPOの連携・調整による被災者の生活再建

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 地元での調整機能や人材育成ノウハウなどの現地への引き渡しの時期、その後の現地主体での継続の方法など出口戦略を明確にして、事業計画書に記載の事
2. 振り返り会や冊子作成により把握した支援活動開始から現在に至るまでの活動経験・プロセスを、県域や他県など他の地域にどう展開し生かしていくかを計画書上で明確にすること。

(9) 第九号議案：新型コロナウイルス対策緊急支援プログラム（緊急対応期）にかかる事業計画書の承認：1事案

〈JPF〉新型コロナウイルス対策緊急支援資金助成及び伴走・モニタリング事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 目的に掲げられている「実施団体の事務負担を軽減」に関するより適切な成果指標

事業審査分科会でのコメント：

1. 事務局資料審査に関して別紙「事業審査分科会委員からのコメント」の通り

5 報告事項

(1) アフガニスタンの現状についての報告

(2) アフガニスタン事業保留に伴うカテゴリー予算の扱いについての報告

- (3) カテゴリー更新の報告
- (4) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4（4）に基づく報告
- (5) プログラム予算変更の手続きについて（国内民間資金）
- (6) 一般管理費モニタリングについて

6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

- 2021年度第7回事業審査委員会：2021年10月22日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
- 2021年度第8回事業審査委員会：2021年11月26日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
- 2021年度第9回事業審査委員会：2021年12月13日(月) 麴町GN安田ビル4F会議室
- 2021年度第10回事業審査委員会：2022年1月21日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
- 2021年度第11回事業審査委員会：2022年2月25日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室
- 2021年度第12回事業審査委員会：2022年3月23日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室